

# 長期休業期間中の業務について

# 長期休業期間中の業務の状況について

(平成18年度教員勤務実態調査より)

○平成18年度教員勤務実態調査において、夏季休業期間中である第2期(7月31日～8月27日)の勤務日の勤務時間(持帰りを含まない)は、小学校教諭で8時間3分、中学校教諭で8時間28分となっており、学期中の期間と比較すると大幅に短いものとなっている。

(※「勤務日」には年次休暇を取得した日は含まない。)

※教員(校長・副校長・教頭等を含む)の1年間当たりの有給休暇の平均取得日数:小学校11.6日、中学校8.8日(平成28年度教員勤務実態調査)

○小学校では、「校務としての研修」(1時間12分)、「その他の校務」(1時間12分)、「授業準備」(1時間4分)の順番に多くの時間を割いている。

「校内研修」と校外の「校務としての研修」を合わせると、**研修に合計1時間45分**の時間を割いている。

○中学校では、「部活動・クラブ活動」(2時間22分)、「その他の校務」(59分)、「校務としての研修」(50分)の順番に多くの時間を割いている。

「校内研修」と校外の「校務としての研修」を合わせると、**研修に合計1時間7分**の時間を割いている。

		小学校	中学校
児童生徒の指導にかかわる業務	朝の業務	0:05	0:04
	授業	0:03	0:04
	授業準備	1:04	0:43
	学習指導	0:23	0:17
	成績処理	0:15	0:13
	生徒指導(集団)	0:03	0:03
	生徒指導(個別)	0:01	0:06
	部活動・クラブ活動	0:11	2:22
	児童会・生徒会指導	0:00	0:03
	学校行事	0:16	0:15
	学年・学級経営	0:22	0:10
学校の運営にかかわる業務	学校経営	0:40	0:24
	会議・打合せ	0:30	0:19
	事務・報告書作成	0:44	0:44
	校内研修	0:33	0:17
外部対応	保護者・PTA対応	0:07	0:06
	地域対応	0:01	0:02
	行政・関係団体対応	0:01	0:01
校外	校務としての研修	1:12	0:50
	会議	0:12	0:15
その他	その他の校務	1:12	0:59
合計		8:03	8:28

※その他の校務:上記に分類できないその他の校務、勤務時間内に生じた移動時間など

# 長期休業期間中の研修（本年夏季休業中のA県における実例）

○A県内に勤務する公立学校教員のうち、特に研修等の時間が長いと考えられる、法定研修※の対象者、免許状更新講習の対象者、新任の管理職数名に、本年の夏季休業中の研修等実績を確認したところ、以下の通り（勤務校はそれぞれ異なる）。

※初任者研修、中堅教諭等資質向上研修

○免許状更新講習も併せて、日数は概ね10日未満、時間数は概ね20～40時間程度。

## 小学校

	法定研修		法定外研修		合計		免許状更新講習	
	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間
A教諭（初任研対象者）	6	39	1	2.5	7	41.5	0	0
B教諭（中堅研対象者）	3	19.5	3	9	6	28.5	0	0
C教諭（勤続約20年・免許更新対象者）	0	0	4	7	4	7	5	30
D教頭（新任）	0	0	6	21	6	21	0	0
E校長（新任）	0	0	10	40.5	10	40.5	0	0

## 中学校

	法定研修		法定外研修		合計		免許状更新講習	
	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間
F教諭（初任研対象者）	5	37.5	10	20	15	57.5	0	0
G教諭（中堅研対象者）	2	13	2	3	4	16	0	0
H教諭（勤続約20年・免許更新対象者）	0	0	3	7	3	7	1	6
I教頭（新任）	0	0	6	24	6	24	0	0
J校長（新任）	0	0	8	22	8	22	0	0

# 長期休業期間中の部活動

○運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(平成30年3月スポーツ庁)における記述は以下の通り。

## 3 適切な休養日等の設定

ア 運動部活動における休養日及び活動時間については、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、スポーツ医・科学の観点からのジュニア期におけるスポーツ活動時間に関する研究も踏まえ、以下を基準とする。

- 学期中は、週当たり2日以上の休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という。)は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。)
- 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。
- 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

○スポーツ庁の実施した「平成29年度運動部活動等に関する実態調査」の結果によると、公立中学校の部活動顧問のうち、夏季休業期間中に部活動指導に関わる日数は、運動部主担当では「20～25日程度」「25～30日程度」「15～20日程度」の順に、文化部主担当では「10～15日程度」「5～10日程度」「15～20日程度の順に多くなっている。

○部活動に関わる日の1日あたり平均時間は、運動部主担当では「3～4時間程度」「4～5時間程度」「2～3時間程度」の順に、文化部主担当では「2～3時間程度」「3～4時間程度」「4～5時間程度」の順に多くなっている。

	運動部主担当に占める割合	文化部主担当に占める割合
原則関わっていない	2.7%	7.1%
5日以内	1.6%	10.7%
5～10日程度	5.1%	18.5%
10～15日程度	11.6%	19.2%
15～20日程度	19.4%	18.4%
20～25日程度	27.4%	14.8%
25～30日程度	19.7%	6.9%
30日以上	9.9%	3.1%
無回答・無効回答	2.6%	1.4%

	運動部主担当に占める割合	文化部主担当に占める割合
原則関わっていない	2.8%	7.4%
1時間以内	0.5%	2.9%
1～2時間程度	3.2%	9.9%
2～3時間程度	18.6%	25.8%
3～4時間程度	41.3%	24.9%
4～5時間程度	21.6%	10.8%
5～6時間程度	5.5%	6.6%
6～7時間程度	2.4%	6.3%
7時間以上	1.7%	4.0%
無回答・無効回答	2.3%	1.4%

# 長期休業期間中の部活動（本年夏季休業中の実例）

○夏季休業期間中には様々な試合・コンクールが開催されている。

○主催者により日程が異なるが、中体連の大会は、県大会段階までは概ね7月～8月初めに開催されている。

## 九州地方A中学校（全校生徒数171人、運動部数8、文化部数1）

部活動名	大会主催者	大会種別	日付	新人戦か否か
吹奏楽部	その他	都道府県大会	7月22日	—
陸上部	中体連	都道府県大会	7月22日～23日	—
女子ソフトテニス部	中体連	都道府県大会	7月22日～23日	—
卓球部	中体連	都道府県大会	7月22日～23日	—
野球部	競技団体	市大会・郡大会	7月28日～29日	新人戦
サッカー部	競技団体	市大会・郡大会	7月28日～29日	新人戦
女子ソフトテニス部	競技団体	市大会・郡大会	8月4日	新人戦
卓球部	競技団体	都道府県大会	8月4日	新人戦
野球部	競技団体	市大会・郡大会	8月11日～13日	新人戦
サッカー部	競技団体	地区大会（市以下）	8月11日～12日	新人戦
女子ソフトテニス部	競技団体	都道府県大会	8月18日	新人戦
男子バスケットボール部	競技団体	市大会・郡大会	8月18日	新人戦
女子バスケットボール部	競技団体	市大会・郡大会	8月18日	新人戦
女子ソフトテニス部	競技団体	市大会・郡大会	8月19日	新人戦
女子ソフトテニス部	競技団体	市大会・郡大会	8月25日	新人戦
女子バレーボール部	競技団体	市大会・郡大会	8月25日～26日	新人戦

※「その他」は、県吹奏楽コンクール

## 東海地方B中学校（全校生徒数973人、運動部数13、文化部数7）

部活動名	大会主催者	大会種別	日付	新人戦か否か
陸上部	競技団体	都道府県大会	7月21日～22日	—
剣道部	中体連	市大会・郡大会	7月22日	—
ソフトボール部	中体連	市大会・郡大会	7月22日～23日	—
野球部	中体連	市大会・郡大会	7月22日～23日	—
ソフトテニス部（男子）	中体連	市大会・郡大会	7月22日～23日	—
サッカー部	中体連	市大会・郡大会	7月23日	—
柔道部	中体連	市大会・郡大会	7月23日	—
バドミントン部	中体連	市大会・郡大会	7月23日	—
バスケットボール部	中体連	市大会・郡大会	7月24日～25日	—
オーケストラ部	その他	市大会・郡大会	7月25日	—
剣道部	中体連	都道府県大会	7月28日	—
水泳部	中体連	都道府県大会	7月28日	—
柔道部	中体連	都道府県大会	7月28日～29日	—
ソフトテニス部	競技団体	市大会・郡大会	7月29日	—
陸上部	中体連	都道府県大会	7月30日～31日	—
バドミントン部	中体連	都道府県大会	7月31日	—
合唱部	その他	市大会・郡大会	7月31日	—
バスケットボール部	中体連	都道府県大会	7月31日～8月2日	—
囲碁・将棋部	その他	都道府県大会	8月4日	—
合唱部	その他	都道府県大会	8月4日	—
水泳部	中体連	地方大会（関東大会等）	8月10日	—
卓球部	競技団体	市大会・郡大会	8月19日	新人戦
水泳部	中体連	全国大会	8月17日～19日	—
合唱部	その他	都道府県大会	8月21日	—
ソフトテニス部	競技団体	市大会・郡大会	8月25日	新人戦

※「その他」は、吹奏楽連盟、合唱連盟、新聞社、放送局など

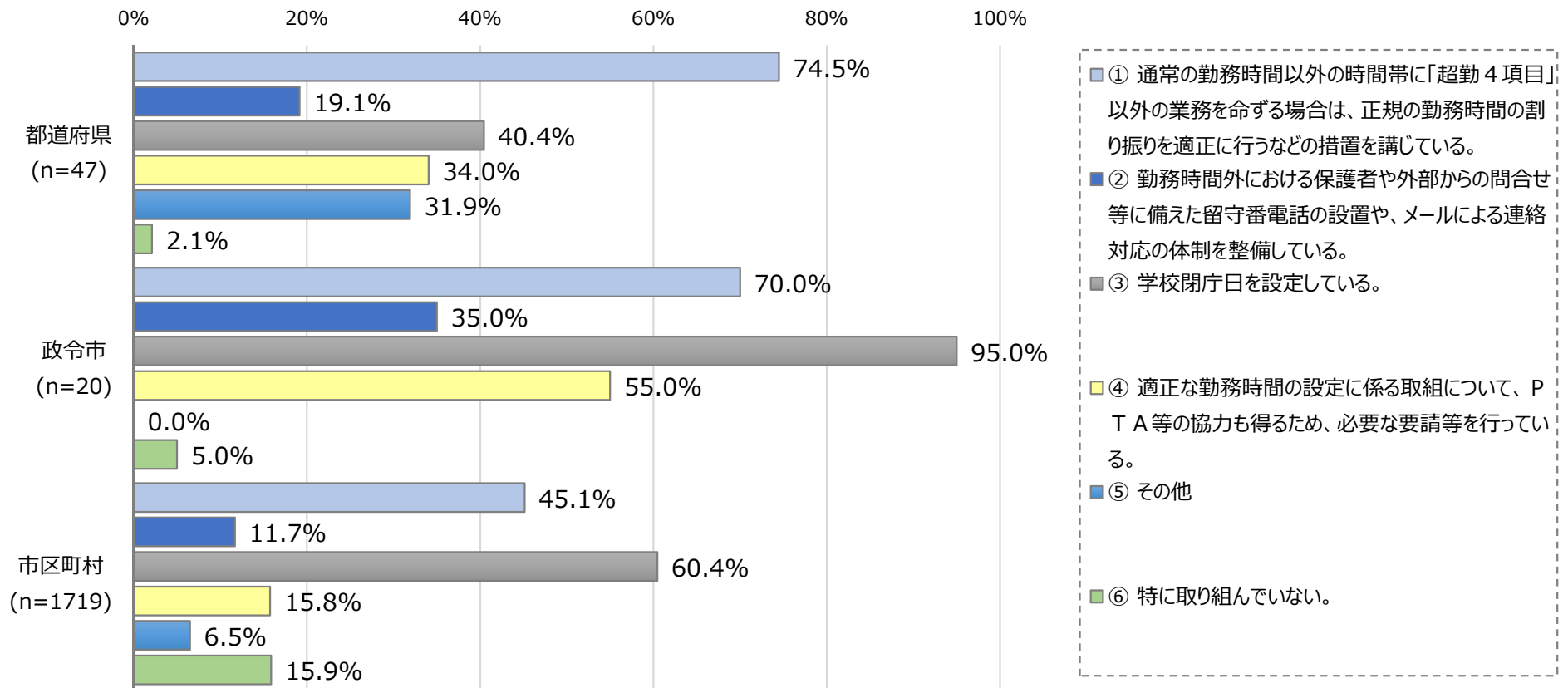
※「日付」欄は、当該学校の試合日のみ記載

# 学校閉庁日の状況について

## 平成30年度「教育委員会における学校の業務改善のための取組状況調査」結果より

### 勤務時間管理や適正な勤務時間の設定に向けて所管の学校に対して取り組んでいる内容

○「学校閉庁日を設定している。」と回答した教育委員会は、都道府県19(40.4%)、政令市19(95.0%)、市区町村は1,039(60.4%)となっている。



※調査回答基準日は、平成30年4月1日。

※学校閉庁日を設定している場合の時期・期間

- ・多くの自治体において、夏季休業期間中の8月13日～15日前後の2～5日間程度を学校閉庁日とするほか、冬季休業期間中の年末年始に合わせて2～4日間程度を学校閉庁日としている。
- ・夏季休業期間中の学校閉庁日については、2週間程度の学校閉庁日を設定している自治体も見られる。